

わかりやすい！島根県の埋蔵文化財情報が満載！

島根県の埋蔵文化財情報誌

web版 No.5

ドキ土器

2026年春

# まいぶん

東百塚山20号墓(四隅突出型墳丘墓) 弥生時代後期の有力者が葬られたお墓が見つかりました。



よすみとつしゆつがたふんきゆうぼ

四隅突出型墳丘墓から3つの埋葬施設を発見！

ひがしひやくつがやま

①東百塚山20号墓(松江市大草町)

【島根県指定史跡：東百塚山古墳群】

れっせき はりいし

列石や貼石が確認され、墳丘の規模は突出部を含めて15mで松江市内では比較的大型の四隅突出型墳丘墓だとわかりました。また、墳頂部からは3つの埋葬施設が見つかりました。埋葬施設の直上から、多数の土器片が見つかり、墳丘の裾にも壺が供えられているのが確認されました。弥生時代後期後葉(2世紀後半)に、この地域一帯を治めた有力者とその家族の墓であった可能性が考えられます。

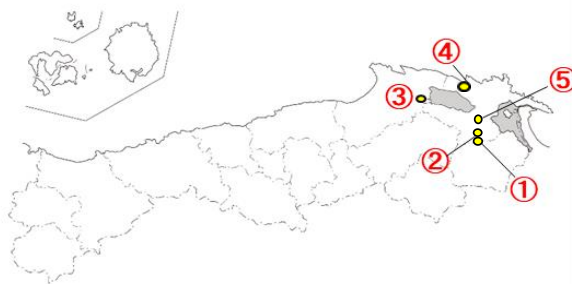


遺跡の位置

# 島根県の最新発掘情報

## 令和7年度

### 発掘調査ガイド



■掲載した遺跡についての問い合わせ：島根県教育庁埋蔵文化財調査センター TEL 0852-36-8608

政庁の<sup>しほい</sup>遮蔽施設を発見か？

## ②史跡出雲国府跡<sup>しせきいずもこくふあと</sup> (松江市大草町)

【国指定史跡：出雲国府跡】

今年度は政庁（国府の中心施設）の北側の調査を行い、新たに柱穴を確認することができました。この柱穴は、過去の調査で見つかった柱穴の延長上に位置しており、政庁を取り囲むように並んでいることから、政庁を遮蔽する塀のような施設の一部であったと考えられます。この他にも、水が溜まっていた可能性のある大型の土坑が見つかるなど、政庁の景観を具体的に復元するための様々な成果が得られました。



新たに見つかった柱穴



遺跡の位置

滑走路の構造が明らかに！

<sup>きゅうかいぐんたいしやきちしゅかつそうるあと</sup>

## ③旧海軍大社基地主滑走路跡 (出雲市斐川町)

旧海軍大社基地は、太平洋戦争末期の昭和20（1945）年に建設された県内でも屈指の規模の軍事施設跡です。このたび出雲児童相談所の移転にともない、調査を行いました。

調査では、コンクリート舗装面で目地（コンクリートを打つ時に設置した型枠の単位ごとに生じる切れ目）などが確認できました。コンクリートやその下部の盛り土の厚さはばらつきがあり、薄い部分では舗装のひび割れなど損傷が目立ちました。舗装面には貫通する直径10cm前後の孔がありますが、これは戦後に「水抜き」などのため意図的にあけられたとみられます。主滑走路の建設にかかわるさまざまな痕跡から、当時の状況を考える手がかりが得られました。



一定間隔で確認できる目地（めじ）



遺跡の位置

島根半島最大の前方後円墳！

(ほり べ)

### ④堀部1号墳(松江市鹿島町)

【松江市指定史跡:堀部1号墳】



墳丘全景(前方部の端から後円部をのぞむ)

堀部1号墳は令和6～7年度調査の結果、島根半島最大規模の墳長70mの前方後円墳であることが確認されました。土器などの明確な時期を示す出土遺物は確認されませんでした。が、<sup>ふせし</sup> 葺石や埴輪が無いこと、後円部の埋葬施設に竪穴式石室が採用されていることから、古墳時代前期中頃(4世紀)に造られたと考えられます。

鹿島町域のみならず、島根県の古墳時代を解明する重要な古墳として、調査研究が進められています。



遺跡の位置

旧石器時代の石器製作跡！

(だんばら)

### ⑤団原Ⅱ遺跡(松江市大庭町)

団原Ⅱ遺跡は、松江市大庭町茶臼山南西に広がる台地上(標高23m)に位置しています。発掘調査の結果、3万年前頃の地層からナイフ形石器(突いたり、ものを切る用途で使われた片刃の石器)や破片等が460点出土し、ここで石器製作していたことがわかりました。県内に69か所確認されている旧石器時代の遺跡のうち、土層との関係から年代を特定できたのは今回で3例目、島根県の沿岸地域では初めての発見となりました。

島根県の旧石器時代を研究するための大発見となりました。



遺跡の位置



ぎよくずい  
玉髓製の  
ナイフ形石器



遺跡全景

## ★講演会を開催しました！

### ●「王墓への道—弥生墳丘墓成立の謎にせまる—」

令和7年11月29日に松江市市民活動センターで講演会を開催しました。100名が来場され、島根県、鳥取県、京都府の弥生墳丘墓の特質や最新の研究成果を熱心に聴講されました。



会場の様子

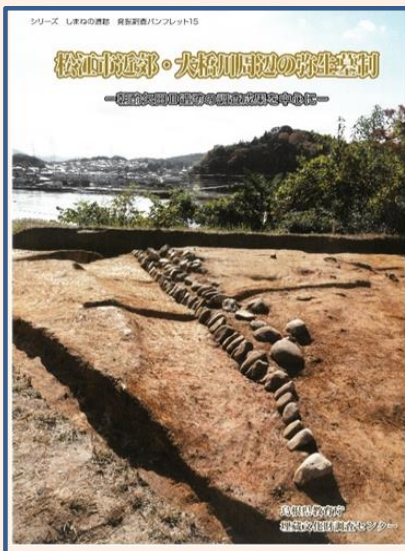


パネルディスカッションの様子

## パンフレット紹介

### シリーズしまねの遺跡パンフレット15 『松江市近郊・大橋川周辺の弥生墓制』

シリーズしまねの遺跡では、いちおしの遺跡を分かりやすく紹介しています。今回は、松江市朝酌町に所在する朝酌矢田Ⅱ遺跡の調査成果を中心に、松江市内の弥生墳丘墓の出現と展開を特集しました。このパンフレットは、当センターで無料配布しているほか、県内の図書館・文化財関係施設にも置いてありますので、ぜひご覧ください。



## まいぶんマシン 再起動！

よみがえれX線！長い眠りからデジタル復活！

## X線デジタル検出器

埋文センターに長らく眠っていたX線透過装置が、ついに目を覚ました！かつてはフィルム式で、製造中止や装置の不調で10年ほど沈黙していましたが、この度デジタル化され、完全復活を遂げました！

これで私たちの大切な文化財を傷つけることなく、内部構造を詳細に調べることができます。島根県内から出土した金属製品たちが、レントゲン検査を心待ちにしています。文化財の知られざる姿が、今、明らかになります！



医療用機器としても使用されている高性能機材

島根県の埋蔵文化財情報誌

ド キ 土 器

まいぶん  
web版 2026年春号

編集・発行

島根県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒690-0131 松江市打出町33

TEL.0852-36-8608 FAX.0852-36-8025

E-mail.maibun@pref.shimane.lg.jp

<https://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>



※遺跡位置図は国土地理院発行1/25,000地形図を使用